

市議会 9月定例会

行政報告

地元労働力確保にむけ

Uターン就職を促進

市議会九月定例会が招集された九月四日、
高山市長が行政報告をしました。その中から
主なものの要旨をお伝えします。
なお、今定例会で審議された案件等につ
いては、次号でお知らせします。

企業誘致と

Uターン対策

七月三十日に進出を発表した
「株式会社内田鋳造所秋田工場」
は、大館市二十一番目の誘致企
業として二井田地区に建設が決
定しました。製袋機部品、印刷
機フレーム等の製造が主で、男
子型企業です。第一期計画では
従業員二十一一人、うち男子十六
人、女子五人を予定し、平成三



年十月操業をめざして諸準備が
進められています。

また、地元企業の労働力不足
に対応するため、昨年度からU
ターン技術者等確保に取り組み、
昨年調査でUターン就職希望者
台帳に登録された二十八人に、
企業がガイドブックや求人情報等
を提供しています。今年もお盆
の帰省にあわせ、全世帯のUタ
ーン希望調査を実施しました。
昨年度は十一人のUターン就
職者があり、地元労働力の確保
に今後も大きな期待を寄せてい
るところです。

小坂インターチェンジ

開通について

東北自動車道「小坂インター
チェンジ」の増設に向けては、
これまで大館市も昭和五十六年
十一月発足の期成同会等の中心
となって、粘り強く運動を展開

してきました。その結果、ルー
ト変更を要すなど厳しい情勢で
したが、昭和六十一年に「追加
インター」として整備計画に盛
られ、六十三年には着工と順調
に推移してきました。そして八
月二十一日に日本道路公団から、
五十六カ所目のインターとして
予定より一カ月早く、十月十二
日開通すると発表がありました。

これにより、大館市も高速交
通体系のエリア内となり、地域
経済の活性化や十和田湖を中心
とした観光振興への波及効果が
期待できるなど、まことに喜ば
しい限りです。ここに、各関係
機関並びに議員各位のご尽力と、
市民皆様方のご協力に心からお
礼申し上げます。

稲の生育状況と

「米の日」について

○稲の生育状況について

田植え以降の高温多照により
初期成育は良好で、六月中旬に
ほとんどの圃場(田)で有効茎数
がほぼ確保されました。しかし
六月下旬から断続的な降雨に見
舞われ、平年より十日以上早く

葉イモチ病が発生し、八月十五
日現在で約一千二百八十ヘクタ
ールにまん延しました。出穂は
平年より四〜五日早く、一穂着
粒数も平年並に推移しています。
今後、イモチ病が首、穂に発
生する懸念もありますが、虫害
の発生は少ないことから、きめ
細かな水管理と適期刈り取りで
平年並みの作柄が期待されます。

○「米の日」について

二回目を迎えた今年度は、米
の自由化がガツト農業交渉の目
玉となっている情勢を踏まえ、
全国に先駆けて「国際シンポジ
ウム」を開催しました。県内外
から約一千百人の参加者を数え、
参加者とのクロス討論があるな
ど盛会裏に閉会できました。こ
の記録は、全国各地へ情報発信
地として公開する考えです。一
方「米まつり」では、稲作農業の
歴史探訪、未来の農業コーナ
ーなど多彩に開催し、各方面から
好評を得ることができました。

その他の報告

- ▽中国人殉難者慰霊式と日中友
好文化交流事業について
- ▽交通事故の状況と交通安全対
策について
- ▽'90大館大文字まつりについて
- ▽十二所地区統合簡易水道事業
の進捗状況について
- ▽公共事業の発注並びに進捗状
況について

市長メモ



No.39

「学びあい月間」

十五回を数える「教育の日」。
そして「市民自らの参加」を付
加して十二回目を迎えました。
全国でもまれな行事です。

この教育の日を更に発展、充
実させようと考え、今年から九
月を「学びあい月間」とし、頭脳だ
けではなく、心、身にまで拡大
することにしました。

一日の橋幸夫さんの記念講演
「お母さんは宇宙人」を皮切りに、
第二弾は二日の市民大運動会。
そして、七日の広域交流ゲート
ボール大会、十三日老壮大学文
化祭と続き、十六日鼓笛隊パレ
ード、青少年健全育成大会、二
十三日には交通安全市民大会を
開催します。両日にも多くの市
民の皆さんのご参加をお願いします。

「学ぶ」ことは、人間だけの特
権といえます。その特権を放棄
したら人間ではないと言われて
も仕方ありません。強制するつ
もりではありませんが、その機
会をつくるのが私どもの仕事で
すから、どうぞご活用ください。

高橋 隆夫